

世界食料デー大会 & 須崎市民合唱団

日時：10月13日(土)2:00~3:30

会場：須崎市民文化会館

講演者：ジェローム・カセバさん
(ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ代表)



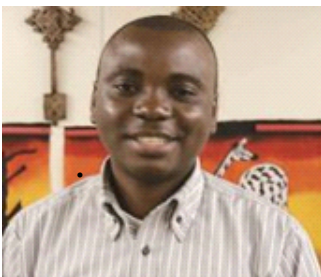
入場料は無料ですが、飢餓に苦しむ地球家族のために募金にご協力いただけたら幸いです。

須崎市民合唱団の素敵なコーラスをお楽しみ下さい。



10月16日は国連が定めた世界食料デーです。地球家族の飢餓を覚えて過ごそう。

☆☆☆ジェローム・カセバ プロフィール☆☆☆



2012年に国際基督教大学大学院を卒業。学生時代から日本国際飢餓対策機構東京事務所にて勤務。2013年7月に(一財)日本国際飢餓対策機構よりコンゴ民主共和国に派遣。パートナー NGO として、現地法人(ハンズ・オブ・ラブ コンゴ)を設立し、飢餓・貧困に苦しむ方々への支援を行っている。主な活動は、3つの村の地域住民の自立のための共同農園事業コミュニティ作りの支援。3つの村の学校では50人の子供たちに教育支援をしている。ルブンバシ市においては、サンデースクールに通う子供たちへの食事の支援、また首都キンシャサでは、孤児になってしまった子供たちへも食事の支援をしている。

主催：世界食料デー須崎大会実行委員会・JIFH 日本国際飢餓対策機構
連絡・問い合わせ TEL0889-43-2223

後援：須崎市、須崎市教育委員会、すさき童謡を楽しむ会

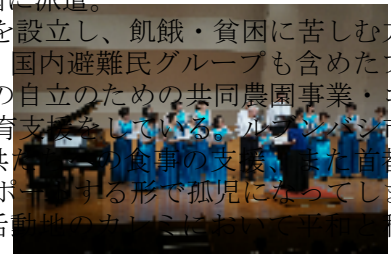
ジェローム カセバ

2012年に国際基督教大学大学院を卒業。

学生時代から（一財）日本国際飢餓対策機構東京事務所にて、パートタイムスタッフとして勤務。

2013年7月に（一財）日本国際飢餓対策機構よりコンゴ民主共和国に派遣。

パートナー NGO として、現地法人(ハンズ・オブ・ラブ コンゴ)を設立し、飢餓・貧困に苦しむ方々への支援を行っている。主な活動は、プエトという地域において、国内避難民グループも含めたプエト内の3つの村（ルブワ、ルンキンダ、チャンフブ）の地域住民の自立のための共同農園事業・コミュニティ作りの支援。3つの村の学校では50人の子供たちに教育支援をしている。ルアンバシ市においては、義父が牧師を務める教会のサンデースクールに通う子供たちへの食事の支援。また首都キンシャサでは、孤児院の働きをする ASOMIP という現地法人をサポートする形で孤児になってしまった子供たちへも食事の支援をしている。また、今年中には新しい活動地の方にはお越しいただき、平和のためのプロジェクトを始める予定である。



世界食料デー須崎大会も16回目となりました。

世界の飢餓状態にある人は8億1500万人。

アジア5,2億人、アフリカ2,43億人、

中南米4000万人。

飽食の国・日本では実感がわきませんね。

同じ地球家族の現状に耳を傾ける時をもちましょう。

右の写真は勉強に励む

カンボジアの子ども達

実は、日本は食物の半分以上を輸入に頼っています。

年に一度、食料について心をとめる時をもちましょう。